広報
いかわ
IKAWA TOWNS.COM
2003 4
No.557
平成15年4月1日発行

●健康で生き生き過ごせる町づくり～平成15年度町の予算
●市町村合併町民アンケート結果報告

同じ場所から撮った現在の風景

ふるさとを見つめて〈1〉
～上大麦早春～

～伊藤孝之助画「井川25景」より～
―昭和39年作―

※広報いかわ №557
※編集・発行／井川町役場情報課 〒018－1596 秋田県南秋田郡井川町北川尻字海老沢樋ノ口78－1 ☎018(874)4413 FAX(874)2600
※印刷／秋田協同印刷㈱

人口などの動き
（3月1日現在）
・人口 男 2,882人（－32）
女 3,203人（－11）
計 6,085人（－43）
・世帯数 1,744戸（＋17）
（ ）内は前年同月との比較

慶弔だより
（2／21～3／20）

■お誕生おめでとう
白川 萌（雅之、真紀子・長女）街道
武塙 海咲（智暢、弥生・二女）街道
安田 弥音（雅人、美雪・二女）寺沢

■ご結婚おめでとう（転入）
伊藤 国秋 羽立 (新本籍) (新住所)
安宅真由子 秋田市 羽立（羽立）

■ご結婚おめでとう（転出）
畠山 仁志 八郎潟町 (新本籍) (新住所)
齋藤千鶴子 赤沢 八郎潟町（八郎潟町）
小半田 浩樹 八郎潟町
信子 羽立 八郎潟町（八郎潟町）

■お悔やみ申し上げます。
湊 貞子（73歳・政秋）大倉
小林 千代志（81歳・本人）館岡
小林 義美（67歳・本人）寺沢
近藤 清四郎（84歳・ 雄）大麦
鈴木 七郎（73歳・本人）羽立
畠山 サクヱ（88歳・正 博）海老沢

善意
■地域福祉基金へ
・中下村町内の伊藤俊一さんより、亡父浅治さんの香典返しとして3万円。
・海老沢町内の鷲谷嘉三郎さんより亡父善太郎さんの香典返しとして5万円。
・館岡町内の小林純一さんより、亡父千代志さんの香典返しとして3万円。
・大麦町内の近藤清明さんより、亡夫清四郎さんの香典返しとして5万円。
“ありがとうございました”

施設の利用状況（2月）
（ ）内は累計
■環境改善センター…… 576人（12,151人）
■歴史民俗資料館…… 16人（ 529人）
■町民体育館…… 1,041人（17,696人）
■町民武道館…… 775人（8,796人）
■町営野球場…… 0人（3,816人）
■ふれあいスポーツ館…… 466人（2,236人）
■赤沢山スキー場…… 900人（1,736人）
■定住促進センター…… 1,378人（21,055人）
■日本国花苑施設…… 0人（12,215人）
■老人福祉センター…… 2,013人（18,274人）
■ゴミ処理量…… 69ｔ（ 949ｔ）
■し尿処理量…… 72㎘（1,252㎘）

ふるさとを見つめて〈1〉
～町内だより

大麦

大麦三大行事の一つ、五月の祭り

文：菅生光夫さん

毎日暮らしている所なのに、改めて考えると、以外と知らないことが多く町史を見てみました。「大麦村という集落あり、長がおり、古くから行政の活動あり」ということが載っていて、祖先たちが楽しみや苦しみを味わいながらの生活の匂いが感じられ、古い集落を誇りに思いました。

昭和20年代、川を境に上大麦、向かいは中大麦、下大麦の集落があり、今では仲台町内に入っていますが、当時は大麦の集落であった所もあって、盆踊りなど順番に担当してよく踊りにいきました。現在でも神社、植林組合は一緒に活動していて、あの頃川を境にしてはよく喧嘩したことが懐かしく思い出されます。

集落の人口も随分少なくなりました。昭和30年三六戸で二四七人（1戸当たり6・9人）が暮らしていましたが、平成14年には二八戸一一〇人（1戸当たり3・9人）になり、急激な減少に驚いています。

今、町内で大きく変わったことといいますと、集落の中の道路が整備されたことです。平成12年に完成した道路は、観光バスも大型トラックもバックしなくても済むようになり、都会や町外の親戚、友人知人までが、すばらしい道路にびっくりします。早速、集落団結のたまものと自慢します。

ここの町内には、今後も継承してほしい行事があります。一つに五月の祭りです。子ども御輿を引いて、老若男女、氏子、町内代表者等が一軒一軒回って祝います。二つ目はさなぶり運動会。田植えの共同作業班の名残が今も生きています。三つ目は盆踊り。行事はそこに住む人たちが集まって、生きと楽しんでこそ価値あるものです。町内役員を中心に生きることは楽しむこととして益々コミュニケーションを図っていきたいものです。うれしいことにゲートボール会員が多く、各大会には二チームが参加します。お互いを思いやり、楽しみながらがんばる姿は美しいと思っています。

春、別れと出会いの季節、人がそうであるように、町も今、合併という岐路に立っています。合併することになったらと思うと、急に、井川〟が愛おしく、井川ならではのことを残しておきたい。そんな思いに駆られました。

表紙に、昭和39年、伊藤孝之助氏が描いた井川の風景画をお借りしました。そして、現在その風景はどう変わっているのか、訪ねてみました。今まで行ったことのなかった場所から見る風景、井川の水面が春の陽に輝いていました。

また、その描かれた集落の様子を知ったらもっとふるさとが鮮明に浮かんでくると思い、裏表紙に「ふるさとを見つめて」として、町内の方から紹介していただきました。表紙と呼応できたでしょうか。

＊＊＊

今年の日本国花苑桜まつりの日程も決まり、桜前線の北上を待つばかりです。井川町の花に指定されている桜、合併によってはこれだって変わるかもしれません。井川ならではの桜をじっくり見ておきたい。春の陽気がそんな気持ちにさせてくれます。（い）

編集雑記 ひとりごと

町づくり

みんなが健康で生き生き過ごせる

―広報公聴活動を積極展開―

地域イントラネット住民用公共端末

平成15年度スタート

いよいよ新年度がスタートしました。

町でも新年度事業が始まります。町では今年どんな事業を展開していくのか紹介します。

平成十五年度の一般会計予算は二十七億九千万円で、そのうち地方交付税は対前年比で過去最高の七、五％減となっており、三年連続で減少という厳しい財政状況です。

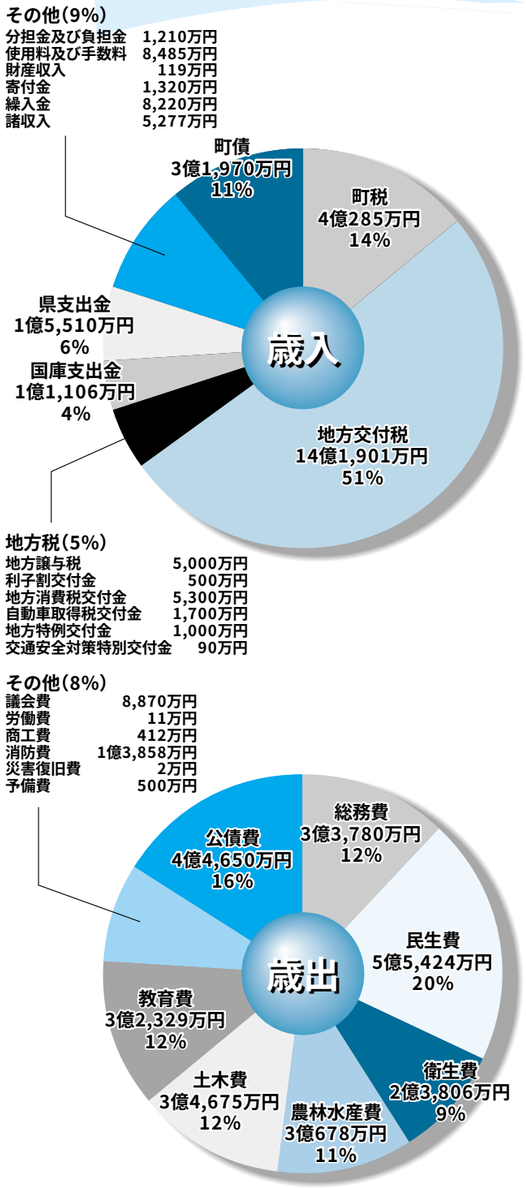
今年最大の課題となるのは、町村合併にどう対処するかということですが、地域人口の減少、高齢化など自立した自治体としてのあゆみを続けるためには合併は避けて通れない状況です。そうした状況下にあって、尚一層の町民の主体的活動と、役場職員の地域住民としての意識改革が求められます。

新年度は、地域イントラネットが始動し、広報手段が充実強化されます。問題意識を持ちながらの活用が重要になってきます。このことに留意し、広報広聴活動を積極的に推し進めながら、従来以上に町民みんなが健康で生き生き過ごせるまちづくりを目指します。

平成十五年度予算

一般会計

27億9千万円



その他（9%）

分担金及び負担金	1,210万円
使用料及び手数料	8,485万円
財産収入	119万円
寄付金	1,320万円
繰入金	8,220万円
諸収入	5,277万円

地方税（5%）

地方譲与税	5,000万円
利子割交付金	500万円
地方消費税交付金	5,300万円
自動車取得税交付金	1,700万円
地方特例交付金	1,000万円
交通安全対策特別交付金	90万円

その他（8%）

議会費	8,870万円
労働費	11万円
商工費	412万円
消防費	1億3,858万円
災害復旧費	2万円
予備費	500万円

歳入総額は、二十七億九千万円で、平成十四年度に比べて額で九千万円、率では三、三％の増となりました。投資的経費の総額は、三億六千二百一万二千円で、構成比は十三、〇％。平成十四年度から繰り越される繰越額を合わせた投資額では五億二百九十八万八千円となり、構成比で十七、二％となります。繰越額を含めたこれらに充当する財源は、国庫支出金で七千三百四十二万一千円、県支出金で一千九百六十五万三千円、地方債で一億七千二百七十万円、一般財源で二億二千三百三十九万四千円となります。

一般会計　前年比三、三％増

特別会計と企業会計の予算

「特別会計」　特定の事業に係る運営経費を賄う会計

「企業会計」　その事業のみで独立採算を図る水道事業会計等

国民健康保険事業　特別会計
予算額　5億7、515万円

井川町診療所　特別会計
予算額　2億450万円

介護保険事業　特別会計
予算額　4億660万円

老人保健　特別会計
予算額　7億3、840万円

下水道事業　特別会計
予算額　2億2、100万円

農業集落排水事業　特別会計
予算額　7、920万円

介護認定事業　特別会計
予算額　3、855万円

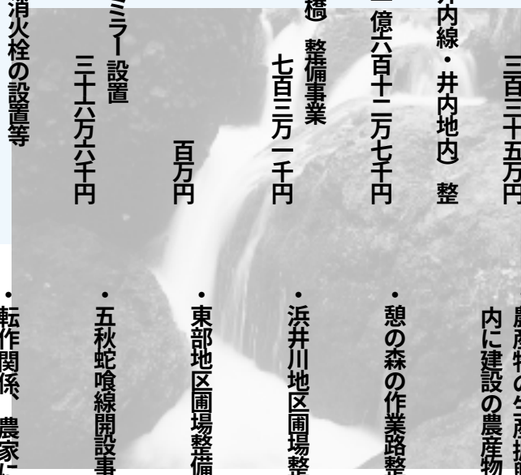
介護サービス事業　特別会計
予算額　2億6、400万円

水道事業　企業会計
収益的支出　1億3、598万円
資本的支出　5、435万円

水清らかに 住みよく やすらぐ まちづくり

心やすらぐ 快適な暮らし

・下水道や農業集落排水などの整備が困難な地域への合併浄化槽設置事業
一千二百七万一千円
・仲台一号線ほか町道整備事業
三千三百一万一千円
・小竹花地内ほか側溝布設事業
三百三十五万円
・地方特定道路（坂本井内線・井内地内）整備事業
一億六百十二万七千円
・橋梁（新道線・井川新橋）整備事業
七百三万一千円
・町内の街灯の整備等
百万円
・交通安全施設のカーブミラー設置
三十六万六千円
・消防施設整備として、消火栓の設置等
三百二十三万円
・河川等（八郎湖岸）環境美化事業
二百二十八万七千円
・十二年度から実施している桜の森彫刻コンクール、入賞作品の購入費や設置工事費等
二千六十万円



・農業生産総合対策として、大豆コンバイン導入に伴う補助金
一千四十八万六千円
・平成九年度から継続的に補助しているＪＡのカントリー建設事業への補助金
一千五十六万六千円
・農産物の生産振興を図るため、日本国花苑内に建設の農産物直売施設整備事業
一千三百八十六万九千円
・憩の森の作業路整備事業
四百十三万円
・浜井川地区圃場整備事業関係
三千九百三十九万二千円
・東部地区圃場整備事業関係
八百六十八万六千円
・五秋蛇喰線開設事業
三百七十四万三千円
・転作関係、農家に対する助成金として、団地化促進費補助金
一千三百十六万五千円
・集落集団戦略作物振興費補助金
一千九百四十六万九千円
・分水ため池（日本国花苑）整備事業関係
三百九十万円

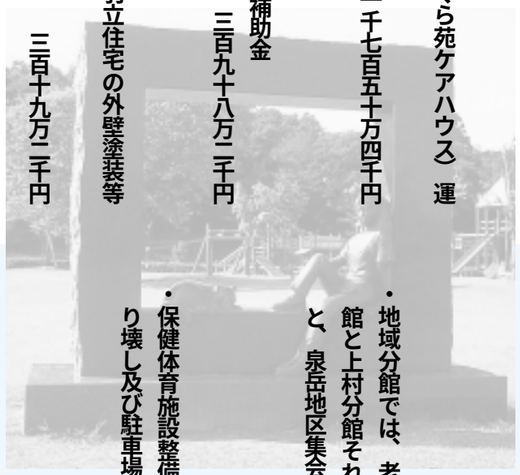
緑さわやかに 発展培う まちづくり

希望にあふれた 活力ある暮らし

人すこやかに 生きがい育む まちづくり

安心を生む 思いやりのある暮らし

・老人福祉センターの浴槽への薬液注入装置取付工事等ほかセンターの運営管理費
一千四百五十一万九千円
・軽費老人ホーム（さくら苑ケアハウス）運営委託料
一千七百五十万四千円
・社会福祉協議会運営費補助金
三百九十八万二千円
・町営住宅整備として羽立住宅の外壁塗装等補修分
三百十九万二千円
・住基ネットワークシステム構築事業
百五十一万二千円



・学校関係では、小学校整備事業として、障害児用手摺工事
八百六万七千円
・中学校の美術室の床の張替工事等
二百三十万円
・地域分館では、老朽化の進んでいる寺沢分館と上村分館それに新間分館の三館建設費と、泉岳地区集会所の水洗化等
四千六百五十八万一千円
・スキー場照明器具の取替え
百三十九万円
・保健体育施設整備として、町営プールの取り壊し及び駐車場整備
五百一十三万八千円
・歴史民俗資料館の外壁及び屋根の塗装
二百七十八万四千円

心豊かに 個性あふれる ひとづくり

自己向上の意欲が もてる暮らし

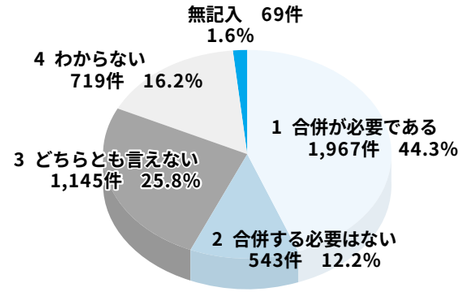
市町村合併 必要である

―― 市町村合併に関する町民アンケート調査集計結果

44.3%

三月、井川町に住む十八歳以上の男・女全員を対象に「市町村合併に関する町民アンケート調査」を実施しました。その集計結果がまとまりましたので、お知らせします。

問1 合併についてどう思いますか。



問2 合併を必要とする理由は何ですか。（３項目選択）

1	生活の利便性の向上	649件（12.4%）
2	組織の効率化による行政サービスの維持・向上	1,041件（20.0%）
3	事務事業の効率化	570件（10.9%）
4	財政基盤の強化による重点的な投資の実現	1,064件（20.4%）
5	広域的な行政課題への対応	731件（14.0%）
6	地域のイメージアップと総合的な活力の強化	646件（12.4%）
7	地方分権の進展への相乗効果	494件（ 9.5%）
8	その他	20件（ 0.4%）

問3 合併を必要としない理由は何ですか。（３項目選択）

1	役場が遠くなって、今までより不便になるため	239件（16.6%）
2	住民の声が届きにくくなるため	302件（21.0%）
3	中心部だけが良くなって、周辺がさびれるため	285件（19.8%）
4	税金が高くなったり、サービスが低下するため	241件（16.8%）
5	地域の歴史や文化、伝統などが失われるため	153件（10.6%）
6	財政状況に差がある町との合併は不利になるため	195件（13.6%）
7	その他	22件（ 1.5%）

問4 どちらともいえない理由は何ですか。

1	直接自分たちの生活に関係がないため	71件（ 6.4%）
2	合併の利点と欠点に判断が難しいため	551件（49.3%）
3	合併に関する情報が少なく判断ができないため	260件（23.3%）
4	合併の意義がよくわからないため	228件（20.4%）
5	その他	8件（ 0.7%）

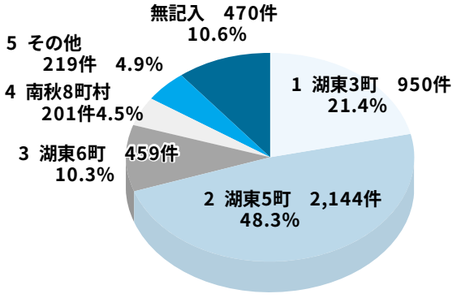
調査状況

対　象　5,131人
- 男性　2,383人
- 女性　2,748人

回答件数：4,553人
- 男性　1,811人
- 女性　2,051人

回答率：88.7%
- 10代　88人（ 2.0%）
- 20代　547人（12.3%）
- 30代　538人（12.1%）
- 40代　669人（15.1%）
- 50代　824人（18.5%）
- 60代　757人（17.0%）
- 70歳以上　904人（20.3%）
- 無記入　116人（ 2.6%）

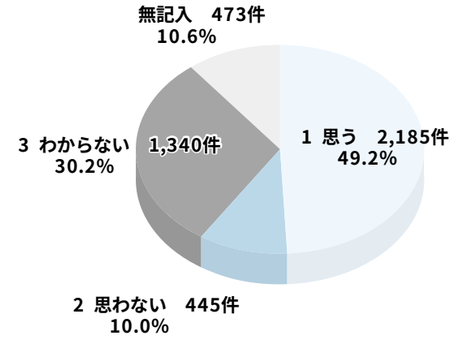
問5 井川町が合併するとしたら、どのパターンがよいと思いますか。
（問１で合併が必要である・ないの回答にかかわらず全員に問う）



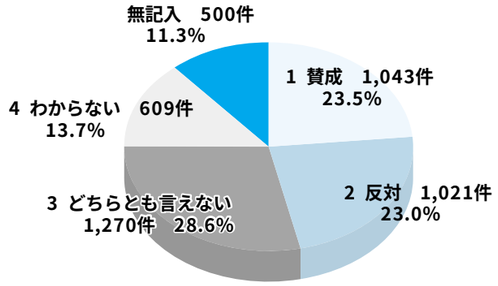
問6 あなたが最も望ましいとした合併パターンを選んだ理由は何ですか。（3項目選択）

1	生活圏のつながり（通勤、通学、買い物、交流など）が強いため	1,785件（19.4%）
2	地域資源の特色（自然、歴史、観光資源など）が似ているため	732件（ 7.9%）
3	公共施設などの相互利用により、今のマイナス面をカバーできるため	1,364件（14.8%）
4	ごみ、水源、介護などの広域行政が可能になるため	1,409件（15.3%）
5	「市」としての行政機能が加わり、多様な行政サービスが受けられるため	964件（10.5%）
6	産業の振興など何らかの共通した期待がもてるため	959件（10.4%）
7	井川町が中心的な役割を発揮できるため	616件（6.7%）
8	理由は特にないが、適当な合併パターンと思えるため	1,319件（14.3%）
9	その他	62件（ 0.7%）

問7 井川町が合併するとした場合平成17年３月までに合併した方が良いと思いますか。



問8 あなたには湖東３町（井川町・五城目町・八郎潟町）の合併についてどう思いますか。



合併座談会

２月26日～３月６日までの９日間にわたり、町内29会場で市町村合併に関する座談会が行われました。550人の方が出席し、意見を出し合いました。主な意見をご紹介します。

- こどもの頃、村から町になってよかったと思ったように、市になれるような合併を選択してほしい。
- 農協合併と同じように５町で合併した方が仕事がしやすいと思う。
- 子供たちの将来を考えればこのままでよいか疑問だ。
- 相手のあることなので理想としては湖東５町だが、３町でも仕方ない。将来を考えると単独は無理だと思う。
- 秋田市を含めた広域合併は無理か。無理だったら南秋田郡の合併は考えられないか。
- ごみ問題等でこじれている状況なので、まず湖東３町でまとまり、次に６町を考えたらよい。
- 井川町は生活基盤の整っている町だ。節約してでも単独ではいけないか。
- 井川町は不自由なところがないし、農協合併の例もあり、このままでいいというのが本音だ。
- 合併すればここは過疎地となり、整備されないのではないか。現在、生活に不満はないが、合併すれば不満がでてくるのではないか。

議会 3月定例会

３月定例議会が３月４日から13日まで８日間の会期で行われました。４日の本会議では、町長が行政報告を述べ、二議員が一般質問をしました。上程された案件は、平成15年度当初予算、条例の改正や平成14年度一般会計補正予算など40案件。予算特別委員会などの審議を経て全て可決されました。

町長の行政報告、可決された案件の中から主なものをお知らせします。

行政報告要旨

水田農業経営確立対策

平成十五年度の生産調整面積の配分についてでありますが、昨年より二四ヘクタール多い三六七ヘクタールが配分され、転作率では三一・九％と過去最高となっております。また、国の助成金に関する交付条件も一段と厳しくなっていることから、地域の実情を充分に考慮した対応をしていきたいと考えております。

十五年度の計画出荷米の配分数量は昨年よりも三千四百俵少ない六万五千三百十二・五俵配分されております。数量が減った理由は転作面積が増えたためであり、今後、各農家からの申し出数量を参考にしながら計画出荷協議会で協議し、配分します。

また、「ボンザイ」という無登録農薬は花卉生産農家が花壇苗に植物成長調整剤として使用したもので、農薬や花は既に処分が終わっております。現在は食するもの以外でも、厳しい規制があり、今後このようなことが二度と発生しないよう注意して参ります。

離職者対策について

一昨年の十二月に離職者対策についての特別相談窓口を設置し活動を続けておりますが、雇用情勢は依然として厳しい状況であります。一月末にハローワークがまとめた井川町の有効求職者数は百二十五人となっており、昨年同期の百六十六人より四十一人減少しております。これはハローワークを通しての再就職や就職のための研修を受けている人が増えたためと考えております。今後とも相談活動を継続し、情報提供に努めることにしております。

一般廃棄物の広域処理について

昨年の十二月から、秋田市総合環境センターに可燃ごみを搬送しておりますが、ペットボトルの混入等について指摘をされた経緯はあるものの、異状なく処理されているところであります。

湖南衛生組合現有炉の排ガス高度処理については、指名競争入札により、工事請負額六億一千四百二十五万円、今年八月末日までの工期で発注されております。しかし改修後においても構成七町村から排出される可燃ごみの全量を処理できない状況下にあるため、次の事項について協議いたしております。

①新たな一部事務組合を立ち上げることについて

②能力アップを図るための施設改修を実施するか否かについて

秋田市まで搬送することになって、若干減量化が進んだようにも見受けられますが、施策の展開による減量化とはいえないものであります。また、たった二カ月間の実績による判断には到底無理があり、最も変動率の大きい夏場の収集実績を踏まえながらの検討協議が必要です。

平成十五年度の循環器健診について

今年の循環器健診実施日程は五月二十八日から六月五日まで実質八日間実施することといたしました。

今年度から五十歳以上の男性を対象に前立腺がん検診と節目検診として肝炎ウイルス検診を実施いたします。

井川町介護保険事業計画（老人保健福祉計画）の策定について

平成十二年度から介護保険制度がスタートし、円滑な実施と介護サービス基盤の計画的な整備を進めるために、国の基本方針に即し、三年ごとに五年を一期とした介護保険事業計画を策定することになっております。町の当初計画は平成十二年度を初年度とし、平成十六年度までの五カ年計画となっていますが、保険料の設定は三カ年ごとに見直しを行なうことになっております。この方針に従って介護保険運営協議会において審議をしていただき、介護サービス量の見込みを勘案しながら標準給付費等の見込み額を算定した結果、第一号被保険者の保険料は現在と同額の三千五百円を基準月額として、計画を策定することにしております。

なお、国では、保険料を抑制するために、施設サービス等の介護報酬単価の改定を決めております。

母体健康増進支援事業について

県では新年度から、子育ての経済的負担軽減対策として、妊婦検診七回分を無料化する方針を決めております。補助率は五〇％、残り五〇％は町の負担となります。本町では、現在一般検診二回分と超音波、感染症検査の四回分を助成しておりますが、新年度においては更に三回分を追加して七回分に対して助成を致します。妊婦検診の受診回数を増やし、健康な母体づくりを進めるとともに一層の少子化対策に資するものと期待しております。

こどもセンター及び小・中学校の入所・入学状況等について

広域入所については、児童福祉法の改正により、保護者にとって利便性がある場合、居住地以外の保育所への入所申し込みができるようになっており、この度、八郎潟町より広域入所の申し込みがあり、二名の保育を行なっております。平成十五年度の入所入学状況は、保育所については定員八十名に対し八十八名（対前年比二十二名増）の入所希望があります。新年度から第一子の０歳児の保育料が無料となることから、今後若干の増加があるのではないかと見込んでいます。また、第三子の保育料免除を継続してまいります。幼稚園は、五十六名（対前年比二名減）の入園で、障害幼児チーム保育事業を活用しながら教諭二名で保育にあたりますが、幼稚園、保育園の一体保育を実施し、多様化された保育需要に積極的に対応してまいります。

小・中学校につきましては、小学校は児童数三百三十九名、学級数十五学級（うち特殊学級が三学級）で、校長を含め二十三名（対前年比同数）の配置内示を受けております。また、中学校は生徒数百七十四名七学級（うち特殊学級一学級）で、校長を含め十八名の配置内示を受けておりますが、今後県の少人数学習推進事業で、臨時講師や非常勤講師の加配が見込まれております。平成十五年度は、幼稚園、小学校、中学校にそれぞれ学校評議員を設置することにより、校長が行なう学校運営に関し学校外の有識者等から幅広く意見を聞き、必要に応じ助言を求めることができ、学校と地域の連携に資するものと期待されます。

また、井川町教育委員会及び井川中学校が文部科学省の「運動部活動地域連携実践事業」の指定を平成十四年度から三カ年受けており、生徒数の減少などにより、運動部活動が十分にできない学校もでている状況で、指導者の確保や生徒のスポーツに関する多様なニーズに応えるため、複数の学校が連携して合同練習

可決された主な案件

■監査委員に工藤侑さんを再任しました。

■固定資産評価審査委員会委員に遠藤鉄太郎さんを再任しました。

■湖東地区行政一部事務組合議会議員（知識経験者）に三浦喜美雄さんが選任されました。

■定住促進センターの夜間使用時間が、通年九時までに改正されました。

■十四年度井川町一般会計から一千四百万円を減額し、予算総額を三十二億三千四百三十万円としました。

補正の主なものは

・減債基金への積立金三千万円

・診療所特別会計への繰出金

一千三百九十八万円

■国民健康保険事業特別会計から八十八万円を減額し、予算総額四億八千百三十一万円としました。

■その他、介護保険事業、井川町診療所、老人保健、下水道事業、農業集落排水事業、介護認定事業、介護サービス事業などの特別会計を決算を見込んで補正しました。

■水道事業会計は、排水修理等に備え営業費用として七十四万円を追加しました。

を実施したり、地域のスポーツクラブとの連携など、一校の枠を超えた新しい部活動の在り方の研究実践に取り組むものです。

地域イントラネット基盤施設整備事業について

地域イントラネット基盤施設整備事業が完工し、新年度より本格稼動となります。役場庁舎を起点とした情報通信網として、公民館・健康センター・診療所・小、中学校・地域の主要な集会所等とのネットワークを有線放送回線で構築し、各種行政情報や地域情報の送受信をインターネットで快適に利用できるほか、町内の要所にカメラを設置し、リアルタイムの画像をインターネット経由で提供する内容であります。これにより、各家庭のパソコンからはもちろん、地域の主要な集会所等に公共端末を配備することで家庭でインターネットを利用していない町民も気軽に町の情報を入手可能となるものであります。

なお、各家庭におけるインターネット環境の整備についてでありますが、このほど、民間の大手プロバイダ事業者の参入が決まり、町内全域を対象に高速で大容量の常時接続サービスが始まります。接続方法については、当初想定していた有線放送回線を利用した接続から、サービス料金や機能面を考慮し、ＮＴＴの公衆回線を利用するものとしております。

市町村合併について

合併特例法の適用期限となる平成十七年三月末までの「男鹿南秋の合併」は無理という見方で一致しております。その後、「地域づくり懇談会」という形で会合をもち、今後は合併を除く消防やごみ処理など、行政課題について意見交換をする場にしようと「男鹿南秋広域行政懇談会」を立ち上げたところであります。

また五城目・八郎潟両町と共に、地域住民の共通認識として湖東五町の合併の検討を、飯田川・昭和両町に文書で要望したところ「湖東五町の合併には、アンケートなどから民意が少数。」との回答をいただいております。

町民の皆さんには合併の情報として、広報「臨時増刊号」を全戸配布したところであります。また、合併に関する座談会を二月二十六日から九日間、二十九カ所で開催し、十八歳以上の全町民へのアンケート調査も実施中で、この後、座談会での意見集約と内容の分析、また、アンケートの集計の後、その方向性を見出して参りたいと考えております。

町長日記抄

齋藤　正寧

町村合併についての町民アンケート結果がまとまった（詳細は別欄参照）。合併が必要が四四・三㌫、合併パターンで最多は湖東五町で四八・三㌫、五城目、八郎潟両町との合併については賛否が二三・五㌫対二二㌫で拮抗した。また、賛否いずれとも言えない層が各設問とも二五～三〇㌫を占め依然として慎重派も多い結果となった。

合併が必要という四四・三㌫が多いか少ないかはそれぞれの考え方があると思うが、他町のアンケート結果と比較すれば少ないことは確か。ほとんどの町村が六割～八割程度となっている。座談会でも合併の賛否いずれともいえない理由の大半はメリット、デメリットの判断が難しい、合併についての情報が少ない、からだろう。当然だと思う。将来構想や地方行財政制度がどうなるかを示されないなかで判断するには一般論で考えるしかない。具体的にイメージすることも極めて難しい。将来構想は合併の相手との協議で初めて作成される。また、地方行財政制度の将来像については五月末頃に中間報告が行われる見込みだ。その時点では判断材料も増えると思う。

合併相手先の選択は町づくりに重点を置くか、財政論に重点を置くかで相当違った判断になるだろう。生活実感や歴史、文化の共通性は町づくりには欠かせない。一方で財政的な裏付けも必要だ。財政論を追及していけば損か得かという話になり、合併の本質論とは違った次元の話になりかねない。合併パターンで湖東五町が五割近くを占めたのは当然だが、昭和、飯田川両町は天王町との三町論。今後も五町合併へ向けて努力はするが、現実的な対応として五城目、八郎潟両町との議会を含めた懇談会へ踏み込んでみたい。また、例年通り、五月末から町づくり懇談会を行い更に合併問題を考えたい。

「町には不自由なところがない。農協合併の例もあり、このままでいたいのが本音」「合併すればいろんな面で不満が出て来るのではないか」との反対論がある一方で「子どもたちの将来を考えれば合併すべきだ」「村から町になって良かったように子どもたちのために市になる合併を選択して欲しい」などが代表的な意見だった。町が合併を選択すべきだとした理由は二十年先、三十年先を考えれば人口が五千人を割り、高齢化率も四〇㌫台になる。国の財政状況を考えれば従来のような手厚い財政移転は考え難いからだ。

表彰おめでとう

みなさん各分野でがんばりました

消防功労

長年にわたる消防活動の功績が認められ、平成十四年度の消防功労者として、次の個人・団体が表彰されました。

消防庁長官より表彰された小武海清熙さんは、昭和四十一年に消防団員となり、平成十一年に分団長に就任、平成十四年には副団長に就任されました。永く職務に精励されたことが認められ、永年勤続功労賞を受章しました。

団体では、平成十四年無火災市町村として井川町が秋田県知事表彰を受章しました。また、日本消防協会長表彰として精績章も合わせて受章しました。

平成十四年優良消防機関として、井川町消防団が秋田県消防協会長表彰を受けました。

みなさん、地域の安全のために尽力されました。

消防庁長官表彰
・永年勤続功労賞
小武海　清　さん

小武海清熙さん
（羽　立）

日本消防協会長表彰
・精　績　章

秋田県知事表彰
・平成十四年無火災市町村
井川町

秋田県消防協会長表彰
・平成十四年優良消防機関
井川町消防団

防火作文・標語コンクール

湖東地区危険物安全協会・湖東地区幼少年婦人防火委員会・湖東地区消防本部の三団体主催による第十三回防火作文コンクール、第十二回火災予防標語コンクールが行われました。

このコンクールは、火災予防に対する意識の高揚及び啓発の推進を目的に湖東消防所管内の小学校五年生を対象に開催されました。

井川小学校からは、次の方が入賞し表彰を受けました。

第十二回 火災予防標語コンクール

最優秀作

「かじふせぐ　ひとりひとりの　こころがけ」

渡部夏澄さん
（新　間）

第十三回 防火作文コンクール

優秀作

「一人一人の小さな心がけから」

伊藤善昭さん
（今　戸）

正月早々、火事がありました。初もうでに出かけ今年一年事故や火事、病気にあわないようにおまいりしたばかりなのに、あの大きなサイレンの音を聞くとは思いませんでした。ろう電が原因だそうです。自分たちが気をつかっていても、気づかないところで火事になることもあります。でも、ほとんどの火事は小さな心がけで防げるのではないかと思います。母はよく外に出てから、

「あっ火を消したよね。」

と言います。何度か、火を消したつもりでいて、なべをこがしたことがあるからです。

ほかにも、防火のために心がけていることがたくさんあります。例えば、父がたばこをすう時に使う灰皿には必ず水を入れておく、大人のいない時は火を使わない、出かける時はどんなに近くでもストーブを止める、ねる前は洗たく物をストーブやえんとつからはなすなど、思いつくだけでもたくさんあります。後は、これをみんなが一人一人の責任をもってどこまでやれるかという小さな心がけ一つです。

井川町では、昨年一年間火事が無かったそうです。これは、町民一人一人が口には出さなくても、小さな心がけがしっかりと根づいた結果だと思います。また一つ、町の自慢できることが増えたと、ぼくはむねを張って言えます。

理科の実験でマッチをつける時、少しドキドキします。しかし、つけたマッチの火はとても小さく、火をつける前のドキドキした気持ちが無くなります。でも、マッチ一本の小さな火で大きな命を無くすこともあるのを忘れてはいけないのです。小さな小さな火になれることなく、その小さな火から大きな大きな命を守ることを、大人も子供も改めて心がけることが必要だと思います。

「秋田バラ会」の皆さんから
丁寧に教えていただきました。

3/22

バラの手入れは？

きれいに晴れ渡った２２日、秋田バラ会のメンバー１０名をお招きして、バラの剪定・苗木の植え方講習会が国花苑バラ園で行われました。参加者は町内外から５０名余り、春の日差しを受け心地よさそうに、思い思いのグループにまとまって講習を受けました。参加者はバラ愛好者で、実際困っていることや具体的な方法を質問したり、剪定ばさみを手にとって実技も指導していただきました。皆さんの庭のバラ、きれいに咲くとうれしいですね。

3/15

そばおいしいヨ

施田コミュニティセンターでは親子学習会が開かれ、そば打ちやプラバン作りを楽しみました。この学習会は子育て支援学習の一環として行われたもので、大麦産のそば粉を使って、自分たちで打ったそばの味はまた格別のようです。参加した親子３５人はコミュニケーションを図りながらの制作をとても楽しんでいました。

スポーツの結果です

秋田県ｽｷｰ連盟公認
協和ジャイアントスラローム ジュニア大会

小学生男子５年の部
２位　松田　大海

男鹿南秋ジュニアスキー大会

小学生男子５年の部
優勝　松田　大海

男鹿南秋スポーツ少年団
柔道交流大会

１年生の部
優勝　伊藤　　輝
３位　工藤　　綾
〃　　高橋　裕貴
４年生の部
優勝　高橋　孝輔
５年生の部
優勝　勝田　祥平
６年生の部
３位　高橋　健介

ホームスティ先の家族と鍋を囲んでの夕食です

3/25~28

こんにちは　スティファニー

先に、井川町のELTとして英語の指導をしていただいたスティファニーさんが、米国の日本語学校での教え子８名と共に井川町にお出でになりました。井川町では７カ所のホームスティ先に分かれて宿泊。角館や田沢湖を観光したあと、町内の各施設を見学、だまこもちを食べながらの交流や桜爛太鼓を体験して、井川町のくらしを満喫して帰路につきました。

無事式典を終え退場する生徒・先生

卒業（園）式

●３月14日　井川小学校卒業生　61名
　　井川中学校卒業生　51名
●３月15日　井川こどもセンター卒園生　42名

在校生から花束を贈られて感無量です

こんなに成長しました

みんな元気に
巣立って
いきました

懐かしい校舎を
あとにして…

先生とお別れの記念撮影

日本国花苑 春 さくらまつり

4月24日(木)～5月5日(月)

彫刻と遊ぶチビッコ
（第２回入賞作品「窓辺の詩」）

主なイベント

4月26日（土）
★彫刻鑑賞会（10時～　国花苑内）
★ワークショップ（13時30分～　国花苑チビッコ広場）
4月27日（日）
★歌と踊りの集い（10時～　屋外ステージ前）
★ヤートセ秋田
★出前民謡「花ちゃんは日本一」
★フリーマーケット（芝生広場）
★お茶会（10時～　定住センター後ろ）
4月29日（火）
★短歌大会（10時30分～　定住センター）
★全県選抜少年野球大会（９時～　町民球場）

彫刻鑑賞会

日本国花苑に設置されている、第１～３回彫刻コンクールの入賞作品の鑑賞会を行います。桜の季節、日本国花苑に新たな風を吹きこんでいる彫刻の数々をじっくり鑑賞してみませんか。

★日時　４月26日、午前10時
★場所　日本国花苑　テニスコート前に集合
★講師　秋田大学　笠原幸生教授
★参加申込みは必要ありません。当日現地に集合してください。

ワークショップ「石ころたちの動物園」（予定）

★日時　４月26日（土）、午後１時30分
★場所　日本国花苑チビッコ広場
★講師　秋田大学　笠原幸生教授
★対象　子どもからお年寄りまでどなたでも
★参加費　無料

花ちゃんの民謡は日本一

4月27日(日)
公開生放送
11：20～11：50

小野花子
★三味線　梅若梅峯
★尺　八　菅原五郎

司会　あべ十全

県議会議員選挙

4月13日(日)
投票時間　午前７時～午後８時（大台は午後６時）

秋田県議会議員一般選挙が行われます。これからの秋田県民の暮らしを左右する大切な選挙です。棄権することのないよう、あなたの判断で清き一票を投じましょう。

◆投票できる方
昭和58年４月14日以前に生まれ、平成15年１月３日以前に井川町に住民登録し、引き続き町内に住んでいる方。

◆不在者投票
選挙投票日に、仕事や旅行、冠婚葬祭などで投票ができない方は不在者投票ができます。

◇期間　４月４日（金）～４月12日（土）
午前８時30分～午後８時
土曜、日曜も受け付けます。

◇投票場所
井川町役場　・二階会議室
・一階ロビー（歩行困難な方）

●問い合わせ
井川町選挙管理委員会
（有）４５１１
ＴＥＬ　８７４－４４２５

平成14年度 井川町スポーツ賞・学芸文化賞

■スポーツ賞

―平成14年度にスポーツ・武道に活躍された小・中学生のみなさんです―

【栄光賞銅賞】

《第32・33回秋田県中学校新人バスケットボール大会優勝》
・三浦　　正（仲　台）
・森田　　隆（小今戸）
・伊藤　真人（今　戸）
・伊藤　大地（中下村）
・菅生　俊介（井　内）
・門間　光亮（井　内）
・小武海高史（田　中）
・佐々木貴弘（井　内）

《第32回秋田県中学校新人バスケットボール大会優勝》
・斎藤　祥太（さくら）
・鈴木　　健（小今戸）
・伊藤　有也（街　道）
・渡部　一徳（新　間）
・湊　　隆之（坂　本）

《第33回秋田県中学校新人バスケットボール大会優勝》
・鈴木　聖志（街　道）
・森田真太郎（小今戸）

《秋田県空手道選手権錬成大個人会組手優勝》
・浅野　高馬（今　戸）

《秋田県中学校体育大会秋季相撲大会個人優勝》
・西方　大介（坂　本）

《秋田県中学校体育大会夏季相撲大会個人優勝》
・伊藤　将明（八　幡）

【奨励賞】

《第４回秋田県小学校柔道選手権大会優勝、秋田県学年別柔道選手権大会優勝》
・石山みさと（街　道）

《秋田県空手道剛柔会選手権大会個人組手優勝》
・浅野　金浩（今　戸）
・菅生　真衣（井　内）
・伊藤　愛理（今　戸）

《秋田県空手道選手権錬成大会個人組手優勝》
・菅生　亜希（井　内）

《全国少年少女空手道選手権秋田県大会個人組手優勝》
・伊藤　優也（今　戸）
・湊　　倫成（坂　本）
・小林　　光（寺　沢）

■学芸文化賞

―井川町学芸文化賞は平成14年度に制定され、学芸・芸術部門で優れた方におくられるもので、今回第１号受賞者です―

《第54回秋田県中学校英語暗唱・弁論大会・兼高円宮杯全日本中学校英語弁論大会秋田県予選弁論の部１位》
・湊　　香織（坂　本）

人事異動

（平成15年４月１日付）

【役場関係職員】

・総務課主査（健康課主査）	鈴木	嘉
・税務課長補佐（町民課長補佐）	三浦吉郎	
・税務課主任（建設課主任）	渡部章子	
・町民課長補佐（税務課長補佐）	工藤光信	
・町民課主任（産業課主任）	伊藤美恵子	
・町民課主事（農業委員会主事）	松岡	明
・健康課主事（公民館主事）	森田陽子	
・健康課主事（産業課主事）	伊藤	譲
・建設課主査（町民課主査）	遠藤	環
・農業委員会主事（教育委員会主事）	伊藤佳子	
・産業課主査（税務課主査）	鈴木	忍
・産業課主事（町民課主事）	高橋幸司	
・教育委員会主査（診療所主査）	鷲谷仁美	
・公民館主事（スポーツセンター主事）	伊藤健一	
・スポーツセンター主査（中学校主任校務員）	鷲谷雪雄	
・診療所主査（健康課主査）	松田淳子	
・こどもセンター（保）主査（同幼）	畠山紀子	
・こどもセンター（幼）主事（同保）	戸澤玲子	
・小学校主査（こどもセンター主査）	小野百合子	
・小学校校務係長（中学校校務係長）	藤田イ子	
・中学校校務係長（小学校主任校務員）	佐藤美智子	
・中学校主任校務員（小学校主任校務員）	嵯峨国男	
《退職》　・出納室長	遠藤清太郎	

【教育委員会】

転入	派遣スポーツ主事	鎌田拓也（県立体育館）
転出	〃	信田秀樹（中央教育事務所）

【井川小学校】

▷転入	教　頭	柴田和子	（野石小）
	教　諭	佐藤淳子	（日新小）
		間杉幸子	（港北小）
		佐藤英悦	（秋田養護）
	事務職員	木村康男	（鶴形小）
▷転出	教　頭	鈴木矩子	（払戸小校長）
	教　諭	淡路春美	（鹿渡小）
		高井美佐子	（下岩川小）
		播摩志津子	（能代西高）
		近江美歩	（天王みどり学園）
		佐々木みどり	（休　職）
	事務職員	阿部博光	（内川小）

【井川中学校】

▷転入	校　長	工藤真悟	（羽城中）
	教　諭	安田和人	（上小阿仁中）
		鷲谷　衛	（男鹿東中）
	事務職員	山村智子	（岩城中）
▷転出	校　長	一ノ関敏昭	（天王南中）
	教　諭	関谷美佳子	（中央教育事務所）
		石川徳行	（能代南中）
		本間秀徳	（総合教育センター）
	事務職員	奈良則和	（角館南高）

4月 くらしの情報

お知らせ

学生の皆さん 納付特例申請を！
～国民年金～

国民年金には、学生納付特例制度という学生本人の所得が一定以下であれば、申請して学生期間中の保険料は社会人になってから納めることができるという制度があります。

納付を免除された納付特例期間は、基礎年金の額には反映されませんが万一の病気やケガについては、障害基礎年金の対象となります。また、10年以内であれば追納もできます。

納付特例は毎年申請をして承認を受けることが必要です。

平成15年度学生納付特例を申請される方は、印鑑を持参のうえ、国民年金窓口で申請して下さい。なお、15年度一年間の免除を申請する方は4月中に申請して下さい。

□申請先、お問い合わせ
井川町役場　町民課
国民年金係　（有）４４４１
ＴＥＬ　８７４―４４１６

農薬使用にご注意

昨年、無登録農薬が全国的に流通し、使用されている実態が明らかになり、国民の「食」に対する信頼を損なう大きな問題となりました。

このため、昨年12月に農薬取締法が次の点で改正されました。

①無登録農薬の製造、輸入、使用の禁止（販売は従来から禁止）
②農薬使用基準に違反する農薬使用の禁止　等々
③罰則の強化

これは、農家だけでなく家庭菜園や花壇の芝の手入れをする方であっても、農林水産省の登録番号のある安全性の確認された農薬をラベルをよく読んで使うことが必要です。無登録農薬はみんなで排除しましょう。

農薬情報は
農林水産省ホームページ
(http://www.maff.go.jp/nouyaku/)の「農薬コーナー」をご覧下さい。

または、役場産業課におたずね下さい。

ＴＥＬ　８７４―４４１８

検診

子宮・乳がん検診実施

町では、平成15年度子宮・乳がんの集団検診を下記の日程で実施します。

例年ですと子宮・乳がん検診は、循環器健診の実施と共に行っていましたが、今年の循環器健診は5月から6月にかけて行われますので、単独の検診となります。お間違いのないようお願いいたします。

□持参するもの
・通知書
・受診料　子宮がん　１，３００円
　　乳がん　　５００円
・子宮がんを受診する方はスカートを持参

□問い合わせ
役場健康課　（有）４４３２
健康センター　（有）４４５５

平成15年度　子宮がん・乳がん検診日程

期　日	会　場	対象町内
4月16日(水)	井内児童館	大台・井内・仲台
17日(木)	コミュニティセンター	大麦・寺沢・綱木沢・蓮田・館岡・赤沢
18日(金)	町民体育館	八幡・大倉・保野子・横岡・坂本・大野地・宇治木・小泉・新間
22日(火)	小今戸公民館	今戸・小今戸・新屋敷
23日(水)	健康センター	海老沢・上村・中下村・小竹花・田中・さくら
24日(木)	健康センター	街道・羽立

受付時間：午後１時30分～２時30分

役場の電話番号

総務課	874-4411
出納室	874-4412
情報課	874-4413
税務課	874-4414
町民課(戸籍)	874-4415
町民課	874-4416
健康課	874-4417
産業課	874-4418
農業委員会	874-4419
建設課	874-4420
水道課	874-4421
公民館(環境改善センター)	874-4422
歴史民俗資料館	874-4423
教育委員会	874-4424
議会事務局	874-4425

春の街をさわやかに

【みんなでつくろう！きれいな秋田】
秋田県では、4月を「あきた・クリーン強調月間」とし、今年は、4月20日（日）を「あきた・ビューティフル・サンデー」としました。
みんなで自宅のまわりなど、身近な環境をきれいにしましょう！

全町一斉清掃・河川クリーンアップ

4月1日～7日 春季環境衛生週間

4月6日（日）午前5時30分～

道路側溝等の清掃による泥等は、大野地町内の旧ごみ処理場で処理いたします。
受付時間：4月6日　午前5時30分～午前7時
一斉清掃以外の個人のごみと思われるものは、引き受けませんのでご注意ください。

●町内の側溝、カーブミラー、ガードレール、不法投棄箇所などの共同清掃。地区集会所など共同利用施設の清掃
●地域河川のクリーンアップ
●ねずみや衛生害虫の発生源の除去
●その他、地域の状況に応じて

きれいで　快適な
生活環境をつくろう

●問い合わせ先●
秋田県生活環境文化部
環境政策課環境企画班
電話　018-860-1602

脳ドック、人間ドックを受けてみませんか

井川町の保健事業の一環として、「脳ドック」「人間ドック」の受診希望者を募集します。対象者は、検査結果を町に提供できる方です。提供いただいた検査結果は、保健師が行う健康相談や診療所での治療、疾病予防などの健康管理に役立てます。

脳ドック

◇対象者　40歳から69歳までの方
（平成15年４月２日現在）
◇受診できない方
①平成12～14年度に町の助成を受けて受診したことのある方
②ペースメーカーを装着している方
③人工関節・人工骨頭・義手・針治療の置き針などをしている方
④手術などにより、金属類で縫合している方
◇医療機関　秋田県立脳血管研究センター
◇自己負担額　①国保加入者　１０，０００円
②国保以外の方　１５，０００円
◇募集人員　①国保加入者　２０人
②国保以外の方　２５人
◇募集期間　4月8日(火)から4月25日(金)まで
◇受診日　受診日は脳研センターより指定されますので、後日脳研より通知します。
◇検査内容　尿、血液(貧血・血清蛋白・脂質・糖尿病・肝機能・腎機能)、ＭＲＩ検査、ＭＲＡ検査、頸動脈超音波検査、心電図、眼底、胸部Ｘ線検査

人間ドック（国保加入者の方のみ対象）

◇対象者　30歳から69歳までの方
（平成15年４月２日現在）
◇受診できない方
平成13年度から平成14年度までに町の助成を受けて受診したことのある方
◇医療機関　ＪＡ秋田厚生連 湖東総合病院
◇自己負担額　１０，０００円
◇募集人員　国保加入の方のみ　男性５人
女性５人
◇募集期間　4月8日(火)から4月25日(金)まで
◇受診日　平成15年6月～平成16年2月まで
（受診月だけ希望できます）
◇検査内容　尿、身体測定、血圧、血液(貧血・脂質・血糖・肝機能・腎機能)、心電図、眼底、胸部Ｘ線検査、腹部超音波、各種癌検査(胃部・婦人科)

「脳ドック」「人間ドック」のお申し込みは
役場健康課へ(有線４４３２ ℡８７４－４４１７)
受付時間は、月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時15分まで(休祭日を除く)

井川町役場　018-874-4411
ＵＲＬ　http://www.ikawa-town.com/
E-mail　ikawa@seagreen.ocn.ne.jp

高橋鉄真ちゃん
（寺　沢）

武藤詩乃ちゃん
（仲　台）

小林美洋ちゃん
（施　田）

◆委員募集

～ボランティア・市民活動支援助成金交付選定委員～

県では、ボランティア・市民活動支援助成金の交付決定にあたり、県民の方々のご意見を伺っています。あなたも委員になって県政に参加してみませんか。

◇公募期間　４月１日～18日
◇旅費等　委員会開催の都度、所定の額を支払う
◇応募方法　申込書を提出
◇申込書請求先・お問い合わせ
秋田地域振興局地域企画課
TEL 860－3312　Fax 860－3850

採用試験

◆労働基準監督官

◇受験資格
・昭和49年４月２日～57年４月１日生の者
・昭和57年４月２日以降生まれで平成１６年３月までに大学を卒業する見込みのある者
◇１次試験
日程　６月15日（日）
8時45分～18時
場所　秋田経済法科大学
40周年記念館
◇申込用紙請求先
全国の労働局、労働基準監督署、人事院地方事務局（県内の公共職業安定所にもあります。）
◇試験申込受付
４月１日（火）～17日（木）
◇申込先
〒010-0951
秋田市山王７丁目１-３　秋田合同庁舎
秋田労働局総務課
TEL862-6681　内線424

◆自衛隊幹部候補生

◇受験資格　22歳以上26歳未満の男女
◇採用数　陸海空自衛官
男女約190名(全国)
◇受　付　４月７日～５月９日
◇試験日　５月24日(土)
◇試験会場　秋田市
◇申込先・お問い合わせ
秋田地方連絡部募集案内所
TEL 864－4929

◆予備自衛官補（一般）

◇受験資格　18歳以上34歳未満の男女
◇採用数　男女約200名（全国）
◇受付締切　４月11日(金)
◇試験日　４月19日(土)
◇試験会場　秋田駐屯地（秋田市）
◇申込先・お問い合わせ
秋田地方連絡部募集案内所
TEL 864－4929

◆ホームヘルパー２級養成講座受講者募集

医療法人「正和会」では、標記講座を開催し、受講生を募集します。

◇対象　全課程の受講が可能な50歳までの方
◇人員　60名
◇日程　４月２１日～９月６日
◇会場　正和会「会議室」
◇資格　全研修を修了した方には、修了証書・修了証明書を授与、ホームヘルパーとしての活動ができます。
（当会の新規事業において、職員を採用する場合は、応募の機会を提供します）
◇受講料　35,000円（教材費は自己負担です）
◇申込期間　4月1日～10日
◇申込書の請求・問い合わせ
医療法人正和会　TEL877－7110

◆国税専門官

◇受験資格　昭和51年４月２日～57年４月１日生の者
◇申込用紙請求先
各税務署総務課
◇１次試験
日程　６月15日（日）
内容　教養・専門
◇試験申込受付
４月１日～１７日（木）
◇申込先・お問い合わせ
仙台国税局人事第２課
TEL　022－263－1111
内線　3236

春の火災予防運動

4月6日～4月12日

消す心　置いてください　火のそばに

新入学(園)期の交通安全運動

4月7日～4月11日

急がずに　マナーとゆとりで
交通安全

4月のカレンダー

4日(金)　小・中学校始業式
6日(日)　全町一斉清掃日
7日(月)　小学校入学式（10:00）
中学校入学式（13:30）
8日(火)　こどもセンター入園式（10:00）
13日(日)　県議会議員一般選挙
15日(火)　町内会長会議（15:00～、役場）
中学校授業参観・PTA総会
16日(水)　子宮がん、乳がん検診（～24日）
24日(木)　日本国花苑桜まつり（～5／5）
26日(土)　中学校郡春季体育大会（～27日）
彫刻鑑賞会（10:00～、国花苑）
ワークショップ（13:30～、国花苑）
27日(日)　歌と踊りの集い＆ヤートセ秋田
（10:00～、国花苑）
29日(火)　短歌大会（10:30～、定住センター）
全県選抜少年野球大会
（9:00～、町民球場）

図書券が当たる 広報クイズ №142

◆今月の問題
(1)平成15年度井川町一般会計の予算額はいくらですか。
(2)市町村合併に関する町民アンケートで回答した方は何人で、その割合はどれくらいでしたか。
(3)今年の国花苑桜まつりの期間はいつからいつまでですか。
◆応募の方法
ハガキに答、住所、氏名、年齢、世帯主名を記入してください。
◆あて先
〒018-1596 井川町北川尻字海老沢樋ノ口78-1
井川町役場　情報課　広報係
◆しめきり
４月18日（当日消印有効）
正解者の中から抽選で５人の方に図書券をプレゼントします。
前回の答えは、　367㍍　　７回目、32年　　４月
当選者は次の通りです。
金子明子（さくら）、伊藤隆貴（今戸）、佐藤順子（さくら）外木宏明（神奈川県）松田京子（千葉県）さんに図書券をお送りします。
たくさんの応募をお待ちしています。

ぼくたちむしばなかったよ

1歳6ヶ月児健診でむし歯のなかった子どもたちです。

藤田　陽ちゃん
（新屋敷）

小玉響介ちゃん
（街　道）

尾留川優ちゃん
（羽　立）

若狭　杏ちゃん
（羽　立）

伊藤灯彩ちゃん
（横　岡）

鈴木綺乃ちゃん
（小　泉）

鎌田康十ちゃん
（今　戸）

高橋澪音ちゃん
（新　間）

遠間　涼ちゃん
（田　中）

保健だより●４月分

すくすく学級・乳児健診

月　日	健診名	対象者	内容	受付・会場
4月15日(火)	すくすく学級	平成15年１月生まれ	離乳について(試食) 神経芽細胞腫の説明	9:30～9:45 健康センター
	乳児健診	平成14年12月・9月 6月・4月生まれ	身体計測、保健指導 内科診察、栄養指導	13:00～13:30 健康センター

・健診の時は問診票、母子健康手帳、バスタオルをお忘れなく。
・７カ月児は、離乳食指導がありますので、１時までに受付を済ませて下さい。

三種混合予防接種

月　日	対象者	受付時間	会　場
4月７日(月) 4月28日(月) 5月26日(月)	１期初回・14年4月1日～14年12月31日生 ・７歳６カ月未満で未実施の子 １期追加・１期初回（3回）終了後から1年経た子 ・７歳６カ月で未実施の子	13：30～14：00	診療所

健康相談・母子健康手帳交付・わいわい広場

月　日	事業名	内容	会　場
4月７日 21日 (月)	健康相談	骨密度測定 健康、栄養に関する相談など	9：00～17：00
	母子健康手帳交付	母子健康手帳・妊婦健康診査受診票交付 保健指導、栄養指導	健康センター
	わいわい広場	乳幼児・親等が対象。みんなで遊び、 情報交換、相談（栄養、歯他）もできます	9：30～17：00

食生活改善学級

食生活改善学級では、平成15年度学級生を募集しています。健康な生活をおくるためには毎日の食事が大切です。食材の持つ栄養や、年齢や体調に合わせた必要量などを学び、家族の食事作りに役立てましょう。また、食事作りに携わる私たちの健康も維持できます。40時間の講習を受けるとヘルスメイトとして地域で活動もできます。地域のみんなを誘って、食生活改善学級に参加しましょう。受講を希望される方は4月10日までお知らせ下さい。
受講申込・お問い合わせ　健康センターへ
（有）４４５５　TEL８７４－３３００

みんなのひろば

いかわっこの夢

伊藤　群さん（坂本）
ゲームが好きなのでゲームデザイナーになりたい。

石山皓也さん（街道）
柔道の選手になって日本中に行ってみたい。

浅野金浩さん（今戸）
プロ野球選手になって、一軍でプレイしたい。

三戸麻以さん（今戸）
いろいろな国のおいしい食べ物を食べたい。

浅野加奈子さん（羽立）
ファッションデザイナーになって服を作りたい。

ガンバル高校生 147

草階菜穂子さん（館岡）
菅生　翔子さん（井内）
和洋女子高等学校（２年）
弓道部

二人が弓を引く姿を見てすぐ感じたのは「かっこいい。ステキッ。」でした。お話をしていた時のにこやかさは消え、的に向かった時の厳しい表情には凛としたものがあり「大和魂」という言葉が頭に浮かびました。

弓道を中学校以前から始める人は少なく、ほとんどは高校に入学してから始めるので、実力は横一線のスタートだそうです。

草階さんは幼い頃から弓道に憧れていて、高校生になってすぐ入部。菅生さんも高校生になっても部活動はやりたいと思っていたので、草階さんに誘われて一緒に始めました。16人の部員と共に楽しいといいます。

弓道の試合は5人による団体戦と個人戦とがあり、一人4本を打って勝敗を決めます。派手な応援は制限されていますが、全部の矢が的を射た時（皆中）会場中全員が拍手をしてくれるのだそうです。その時の感激は忘れられないといいます。

和洋高校には道場がなく、普段は腕の力や集中力を高めるトレーニングをして、週一～二回県立スポーツ会館の道場で練習します。

目標は？「やっぱり、インターハイ目指します」ガンバレ！

リチャードの楽しい英語の時間です

このコーナーは、毎週水曜日、有線放送の夜の定時放送で放送されます。ひとくち英会話のテキストとしてご利用ください。

今月はかんたんな英語の質問と答えを勉強しましょう。

Self Introductions（自己紹介）

Hellow, my name is ××××.
こんにちは　私の名前は××××です。

My hobby is ××××.
私の趣味は××××です。

Nice to meet you.
はじめまして　よろしくお願いします。

Questions（質問）

What's your name?
あなたの名前はなんですか。

How old are you?
何歳ですか。

Do you like ××××?
××××が好きですか。

Can you eat ××××?
××××を食べれますか。

Are you okay?
大丈夫ですか。

Can you speak Japanese?
日本語を話せますか。

わが家のアイドル

牧野　優香ちゃん（四歳）
優斗ちゃん（一歳）
さくら
父・英樹さん
母・美恵子さん

いつもお姉ちゃんの後追いをする優斗。近頃は歩くのもとても上手になりました。
時々ケンカもしますが、どこへ行くにも何をするにも一緒の二人。お互いになくてはならない存在のようです。いつまでも仲良くネ！

短歌

井川短歌会詠草

みんなみに向きたるなだり雪消えて水仙の株はみどりを伸ばす　斎藤　眞人
携帯でメール送りつつ学生は笑みを浮かべて左側来る　伊藤　陽子
枯草を分けて生えくる福寿草黄の色たしかに存在感あり　児玉千代子
俎山の裾を覆いて乳色の霞立つ見ゆ春来るらし　小林　喜作
やわらかき心を持てと吾に言いし母の言葉が脳裏にうかぶ　遠藤恵美子
一度着し加賀友禅の留袖は二度と着ぬまま箪笥の中に　小林　タミ
恙無く喜寿で迎えしクラス会積もる話に花を咲かせん　鈴木　鉱造
残業を終きたるらしスーパーに閉店ま近若き等かけこむ　伊藤千代美
喜寿なれば集う姿もそれぞれの老いは老いなりに言葉かけあう　工藤　美穂
ゴンドラで蔵王山頂に登り来て樹氷のすばらしき造形を見る　渡部　光造
近寄れば飛ぶ態勢に雁の群同じ方向に動きを変えぬ　伊藤ミヤ子
雲低く垂れ込めている冬空を塒へ帰る鴉らの見ゆ　すずきいさむ
「テポドン」の挑発発射に小泉首相慌てふためき「イーデス鑑」呼び寄せると　渡部　廣治

メロディー通信 85

600字でひとこと

最近思うこと

小　玉　　勢（寺　沢）

最近、このままでいいのだろうか、何かを変えなくてはならないのではないかと思う事が多くなった。具体的に何についてというわけではなく、全てについてこう思う。そもそも今の自分や生活、仕事などのどの部分がこのままでよく、どの部分がどのように変えなくてはならないのかをよくわかっていない。ただ漠然とこう思う。夜、寝ながらこの事について考えたりする事もあるのだが、結局面倒くさくなって考えるのをやめて寝てしまう。

今までもこう思うことは何度もあったし、また同じように何かを変える機会も何度もあったと思う。しかし、このことごとくを無駄にしたのか、それとも変わった事に気が付いていないのか、自分では昔とほとんど変わっていないような気がする。さすがに全く変わっていないとは思わないが、それは自分から変えようとして変わったのではなく、周囲によって（それが結果としてプラスになったか、マイナスになったかは別として）変えられたのだと思う。

自分にとって、自分から何かを変えるという事は非常に難しい事である。面倒くさくもあるし、正直なところ怖くもある。しかし改めて、このままでいいのだろうかと考えた時、やはり何かを変えなくてはならないと思う。今がベストだとは到底思えないし、それどころかベターかどうかさえもかなり怪しいものである。

そこで、この文章を書いた事をきっかけに、プラスになるか、マイナスになるかわからないが何か1つだけでも自分から変えてみようと思う。